

藤田さおり

灯火

冬の寒い朝一番
寝たきりの母の吐息に
かざす手が覚えている
喜びも悲しみも
このぬくもりから生まれたことを

聖火

あの日、あなたがくれたあのことば
わたしの心のど真ん中に着火してから
消えることなく
絶えることなく
静かに燃え続けて